複合型火災・都市ガス警報器
（不完全燃焼警報機能付）
ＹＦ－Ｗ３

◆取扱説明書（取付説明書・保証書付）

空気より軽い12A、13Aガス用

TOHO GAS

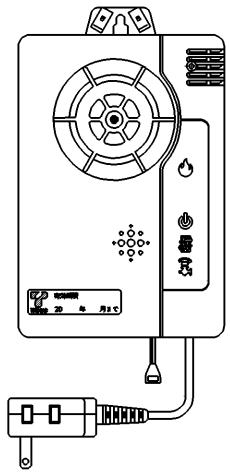
お客さま用

㈶日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

YF-W3型

複合型火災・都市ガス警報器
（不完全燃焼警報機能付）
取扱説明書

保証書付



●複合型火災・都市ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）をお取付けいただきありがとうございました。

●この取扱説明書は複合型火災・都市ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）の取扱方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。

●本取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●本書を紛失された場合は、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にお問合せください。

●この警報器は都市ガス、一酸化炭素(CO)、熱を検知して警報を発するものです。
ガスもれ、CO中毒、火災の防止装置ではありません。

【日常点検のお願い】
警報器が使えなくなると緑ランプが点滅してお知らせします。
燃焼器をお使いになる前に緑ランプを点検してください。
緑ランプが早い点滅（2ページ参照）していたら、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所に連絡してください。

! 必ず行う

R100

2005.02
××××××-×-×××

もくじ

頁

■ 1．警報器をご使用になる皆様へ 1
■ 2．対象ガス 2
■ 3．各部の名称と働き 2

お客様用

■ 4．主な特長 4
■ 5．ご使用上の注意 6
■ 6．予備コンセントの使用方法 8
■ 7．使用方法 8
■警報ランプと音声警報音 9
■ 8．「ピポーピポー 火災警報器が作動しました 確認してください」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯(フラッシュ)） 10
■ 9．「ピポーピポー 火災です 火災です」と火災警報を発している場合の処置(火災警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯(フラッシュ)) 11
■ 10．「ピッポッパッ タラララ タラララ タッタッタッ」と予備検知報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点滅） 12
■ 11．都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕または黄ランプが点滅している場合の処置 13
■ 12．「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」と都市ガス警報を発している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯(フラッシュ)） 14
■ 13．「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて 換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置（黄ランプ点灯(フラッシュ)） 16
■ 14．ガスもれの音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯(フラッシュ)） 18
■ 15．「ピポーピポー 火災です 火災です」と火災警報を発している場合の処置(警報ランプ 赤 赤 黄 の同時点灯(フラッシュ)) 20
■外部機器連動対応表 22
■ 16．警報器のお手入れ方法 23
■ 17．アフターサービス 24
■ 18．仕　　様 25

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い 26
■ 19．設置前のご注意 27
■警報器の確認 27
■ 20．取付け位置の確認 28
■ 21．取付方法 31
■ 22．作動点検 34
■外部装置と接続した場合の注意点及び点検方法 42
■お客様へのご説明内容　■お客様への周知事項　■施工される方へ 43
保証書 44

■ 1．警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

■ 2．対象ガス

⚠注意

- この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）専用の警報器です。
- 都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

■ 3．各部の名称と働き

①電源ランプ（緑）
- 電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。（警報器の安定時間）
- 通常は緑ランプが点灯しています。

②都市ガス警報ランプ（赤）
- 都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。
- 都市ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯（フラッシュ）します。

※ 点灯時は14ページを参照ください。

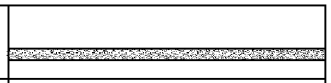
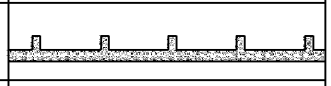
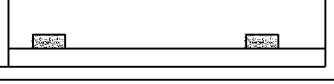
③不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄）
- 不完全燃焼ガスを検知すると、黄ランプが点滅します。
- 不完全燃焼ガスが規定濃度以上になると黄ランプが点灯（フラッシュ）します。

※ 点灯時は16ページを参照ください。

④火災警報ランプ（赤）
- 火災による熱が規定温度以上になると赤ランプが点灯（フラッシュ）します。
- 予備検知すると、赤ランプが点滅します。

※ 点灯時は10ページを参照ください。

ーランプの表示についてー
取扱説明書中のランプの点灯、点灯（フラッシュ）、点滅、早い点滅、遅い点滅は次の表示動作を表します。

点灯	連続して点灯	
点灯（フラッシュ）	点灯中0.5秒毎により明るく点灯	
点滅	0.5秒毎に点灯	
早い点滅	0.2秒毎に点灯	
遅い点滅	10秒毎に点灯	

⑤警報スピーカー（音声合成音）
- 購入時は音声設定となっています。（ブザー設定を要望される場合は販売店または、最寄りの東邦ガス営業所に申しでてください。）
- 都市ガスのガスもれ警報時には（ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか）が鳴ります。

※ ブザー設定した場合（ピッピッポッポッ）のみの警報が鳴ります。
※ 鳴動時は14ページを参照ください。

- 不完全燃焼警報時には（ピッポッピッポッ空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください）が鳴ります。

※ ブザー設定した場合（ピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。
※ 鳴動時は16ページを参照ください。

- 火災警報時には（ピポーピポー火災警報器が作動しました確認してください）が鳴ります。

※ ブザー設定した場合(ピポーピポー)のみの警報が鳴ります。
※ 鳴動時は10ページを参照ください。

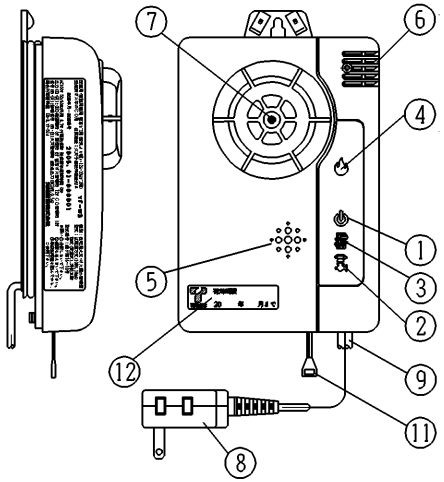
- 火災警報と不完全燃焼の複合警報時には（ピポーピポー火災です 火災です）が鳴ります。

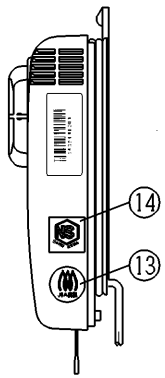
※ ブザー設定した場合(ピポーピポー)のみの警報が鳴ります。
※ 鳴動時は11ページを参照ください。

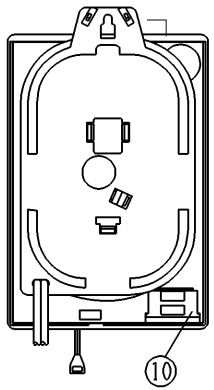
⑥ガス検知部（都市ガス・不完全燃焼ガス）
⑦火災検知部（熱感知）
⑧電源プラグ
- 予備コンセントは最大1490Wまでの電気器具を使用できます。

⑨電源コード
- 長さ2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能）

⑩外部出力コネクターカバー
⑪音声確認スイッチ（引きひも）
⑫有効期限シール
⑬検査合格証
⑭鑑定合格証票







お客様用

■ 4．主な特長

■都市ガス・不完全燃焼警報機能

●都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

低濃度（注意報）

赤ランプの点滅

高濃度（警報）

赤ランプ点灯（フラッシュ）とガスもれ警報音「ピッピッポッポッガスがもれていませんか」（音声合成音）

●ガス機器の不完全燃焼が発生した場合

警報器周囲の一酸化炭素濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

一酸化炭素濃度が低濃度の場合でも約13分間継続して検知した時は黄ランプ点滅のままで高濃度の警報音が鳴ります。

低濃度（注意報）

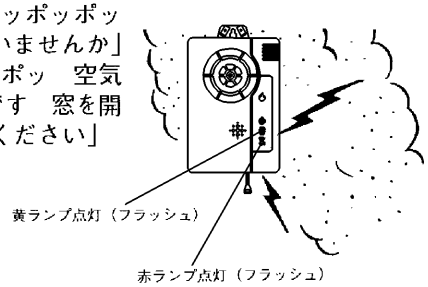
黄ランプの点滅

高濃度（警報）

黄ランプ点灯（フラッシュ）と不完全燃焼警報音「ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」（音声合成音）

●都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合

赤ランプおよび黄ランプ点灯（フラッシュ）と交互に警報音「ピッピッポッポッガスがもれていませんか」「ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」（音声合成音）



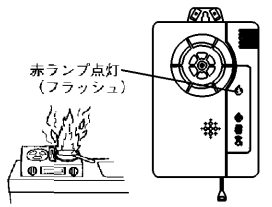
■都市ガス・不完全燃焼警報連動機器との接続

●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。
●戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。
●マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。
●無線連動システムでは警報を発すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

■火災警報機能

●火災による熱が発生した場合

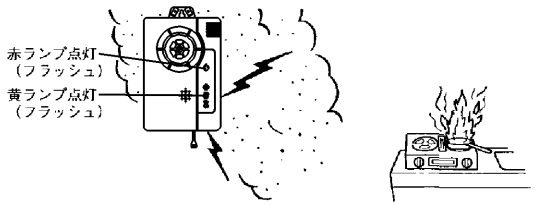
警報器回りの温度が約65℃以上になると右のように作動します。



赤ランプ点灯（フラッシュ）と火災警報音「ピポ－ピポ－　火災警報器が作動しました　確認してください」（音声合成音）

●火災による熱と同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合

●赤ランプおよび黄ランプ点灯（フラッシュ）と警報音「ピポ－ピポ－　火災です　火災です」（音声合成音）

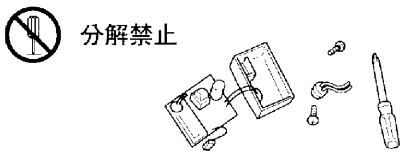


●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。
●マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

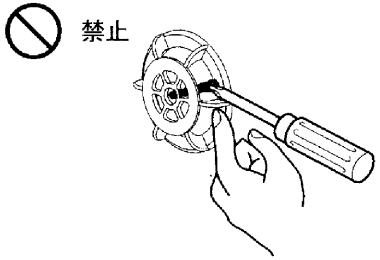
■ 5．ご使用上の注意

⚠警告

●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。
（故障の原因となります。）

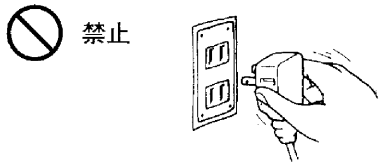


●火災検知部のガードの中にある火災センサにはさわらないでください。
（火災を検知しなくなる恐れがあります。）

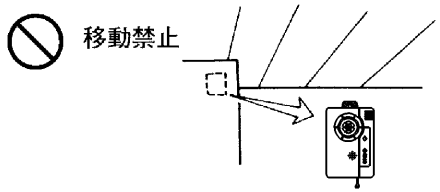


⚠注意

●警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。(火災が発生していても、またガスもれ、不完全燃焼していても警報を発しません。)



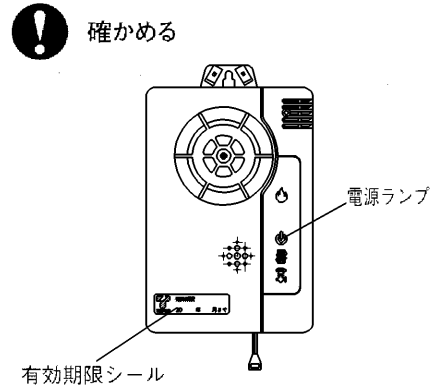
●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所に依頼してください。
(警報の遅れの原因となります。)



●ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。
（感電する恐れがあります。）

⚠注意

●日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。
●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限シールが貼ってあります。有効期限は、お取付け後5年間です。期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。
●有効期限を過ぎた場合、電源ランプ（緑）が遅い点滅（10秒毎に1秒点灯）となり有効期限が過ぎていることをお知らせします。



⚠危険

●浴室では使用できません。

⚠注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれや一酸化炭素には警報を発してお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれや一酸化炭素では警報を発しないことがあります。

●この警報器は熱を感知して警報を発するものです。火災の防止装置ではありません。

●警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。

●屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。

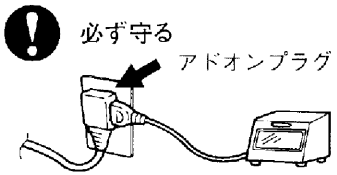
●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ノイズ(雑音)が増える場合があります。この様な場合は、警報器から少し距離を離してご使用ください。

※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約1分間は作動しません。なお約1分後に赤のランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯に変わります。
※殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。
※警報器は多少暖かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサー部を加熱して使用するため。)
※業務用等で使用される大鍋で湯を沸かす際、点火初期時に一酸化炭素が発生し、不完全燃焼警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。
※調理や、空調の熱により警報音が鳴る場合があります。

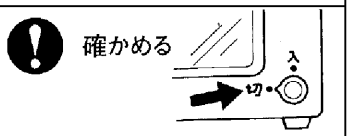
■ 6．予備コンセントの使用方法

⚠注意

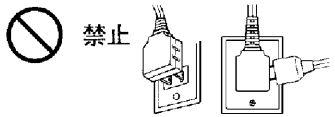
●警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。
ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。



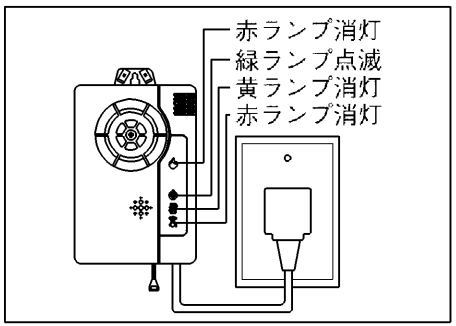
●警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてから接続してください。



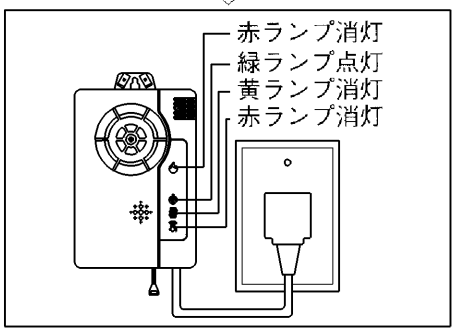
●警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、焼損する場合があります。



■ 7．使用方法



⇩



①警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。

②約1分間お待ちください。

警報器の動作
約1分間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。

⇩

約1分間後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの早い点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられますので販売店または、最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。

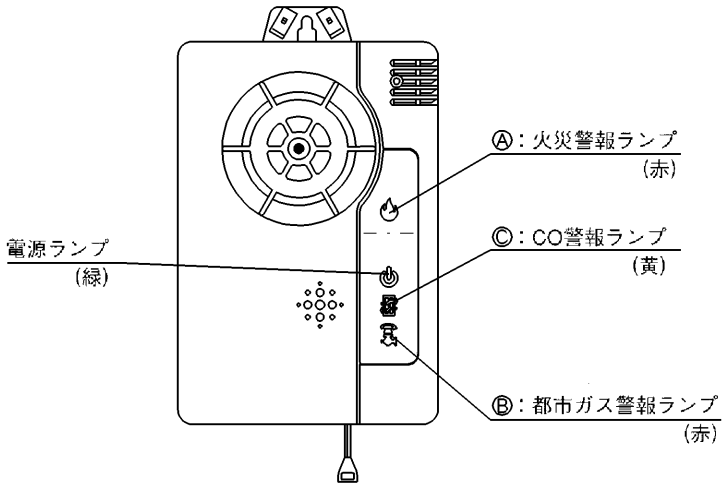
赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。

■警報ランプと音声警報音

	警報状態			警報ランプ	警報音
	火災	都市ガス	CO		
単一検知	○			Ⓐ	ピポーピポー火災警報器が作動しました　確認してください
		○		Ⓑ	ピッピッポッポッ　ガスがもれていませんか　※1
			○	Ⓒ	ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください　※2
複合検知	○	○		ⒶⒷ	ピポーピポー火災警報器が作動しました　確認してください (火災警報優先)
	○		○	Ⓐ Ⓒ	ピポーピポー　火災です火災です　(火災警報優先)
		○	○	ⒷⒸ	※1と※2を交互に発声
	○	○	○	ⒶⒷⒸ	ピポーピポー　火災です火災です　(火災警報優先)

・警報ランプはそれぞれ独立して点滅又は点灯（フラッシュ）します。
・火災の予備検知報時はメロディ注意報「ピッポッパッ　タラララ　タラララ　タッタッタッ」が鳴ります。
・警報音は火災警報を優先しています。（予備検知報時は優先となりません。）
・ブザー設定時は予備検知報機能はありません。
・火災警報とCO警報の複合検知時は、緊急度の高い音声としました。
・ブザー設定の場合、以下の警報音が鳴ります。

火　　災：ピポーピポー …
都市ガス：ピッピッポッポッ …
不完全燃焼(CO)：ピッポッピッポッ …

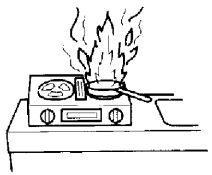


■ 8．「ピポーピポー火災警報器が作動しました確認してください」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯（フラッシュ））

●次の処置をしてください。

1.火元の確認をしてください。

確認する

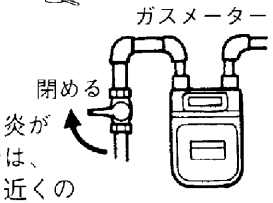


2.必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

3.避難してください。

避難する

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の熱などで火災警報を発している場合は、都市ガス警報ランプ（赤ランプ）の点灯（フラッシュ）、点滅の有無を確認してください。

確認する

●都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点灯（フラッシュ）又は点滅している場合は、P13、P14、P15の処置を行ってください。

処置する

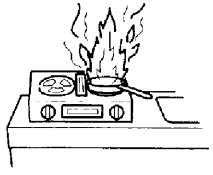
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先される為、音声による都市ガス及び不完全燃焼(CO)警報は発しません。
※火災以外の熱で警報した場合、引きひもを引けば約5分間警報機能が停止します。（周囲温度が下がらない場合は約5分後再び警報します）
※警報器周囲の温度が規定温度以下になった場合、警報音が鳴りやみ赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■ 9．「ピポーピポー火災です 火災です」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯（フラッシュ））

●次の処置をしてください。

1.火元の確認をしてください。

確認する

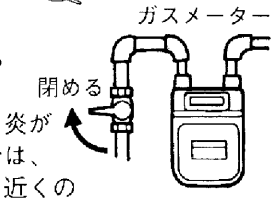


2.必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

3.避難してください。

避難する

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。
※音声確認スイッチにより火災警報音を止めた場合「ピッポッピッポッ空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください。」になります。

■10. 「ピッポッパッ タラララ タラララ タッタッタッ」と予備検知報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点滅）

⚠注意

- 予備検知報機能は、火災検知を行う機能ではなく、室内の温度変化の異常を知らせる注意報です。
- 警報方式をブザー設定とした場合は、予備検知報機能は作動しません。

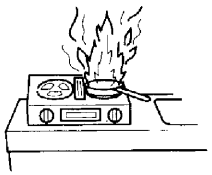
● 次の処置をしてください。

予備検知報が作動したら、室内の異常を確認してください。

●火事の場合、次の処置をしてください。

1. 火元の確認をしてください。

確認する

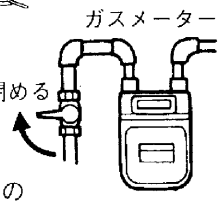


2. 必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

3. 避難してください。

避難する

※外部機器と連動している場合でも外部機器は作動しません。

■11. 都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕または黄ランプが点滅している場合の処置

■都市ガス警報ランプ（赤ランプ）または、不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄ランプ）が点滅している場合の処置

●次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

室内の空気が汚れた場合にも、赤と黄のランプが点滅する場合があります。

※外部機器と連動している場合
外部機器は作動しません。
（警報音を発していない場合）

■12.「ピッピッポッポッ　ガスがもれていませんか」と都市ガス警報を発している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯（フラッシュ））

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

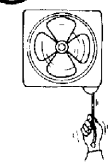
⚠危険　火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。

禁止



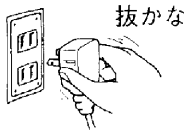
換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

禁止

コンセント

抜かない



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。
ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

閉める

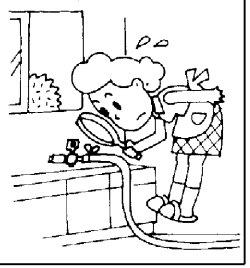
3. 警報音が鳴りやまなければ販売店または、最寄りの東邦ガス営業所へご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4. ガスが規定のガス濃度以下になれば警報音は自動的に止まりますので、止まってからガスもれの原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる

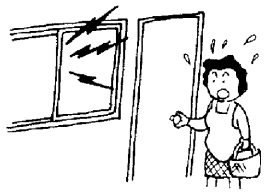


■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアをあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止



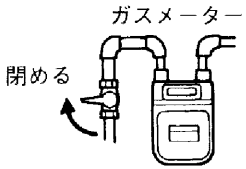
●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

外から開ける

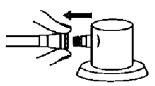
2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合



コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

閉める

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■もれたガスが規定のガス濃度以下になった場合

●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■ 13. 「ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置（黄ランプ点灯（フラッシュ））

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠危険

●警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

●換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素濃度が上昇し短時間で生命が危険な状態になる恐れがあります。

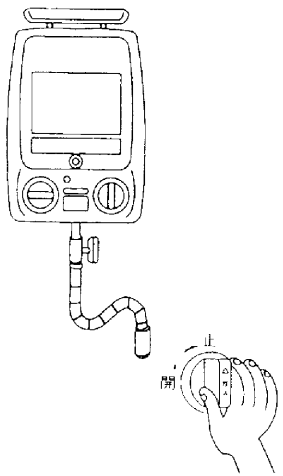
●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。

止める



3. 警報音が鳴りやまなければ販売店または、最寄りの東邦ガス営業所へご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

●ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますのでこれらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠危険

●一酸化炭素濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

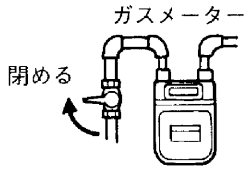
●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

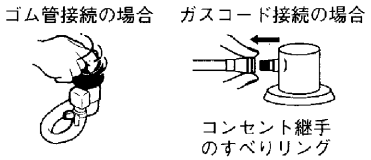
外から開ける

2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。



閉める

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■不完全燃焼ガスが規定のガス濃度以下になった場合

●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、黄ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■14. ガスもれの音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置
(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯(フラッシュ))

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

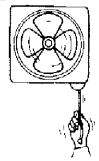
⚠危険 火花などによる爆発または一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。

禁止



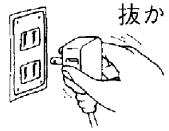
換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

禁止

コンセント

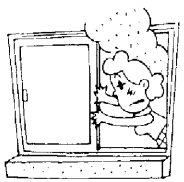
抜かない



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。
ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

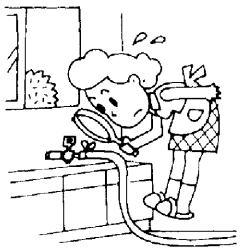
閉める

3. 警報音が鳴りやまなければ販売店または、最寄りの東邦ガス営業所へご連絡ください。

連絡する

4. もれたガスや不完全燃焼ガスが規定のガス濃度以下になれば警報音は自動的に止まりますので、止まってから警報が鳴る原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる



●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

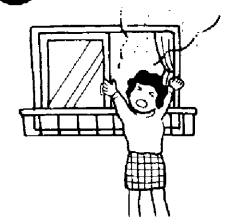
⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合または、一酸化炭素濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

●次の処置をしてください。

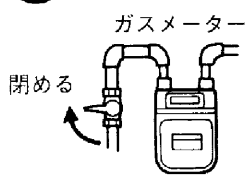
1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

外から開ける



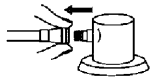
2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合



コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

閉める

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■ガスが規定のガス濃度以下になった場合

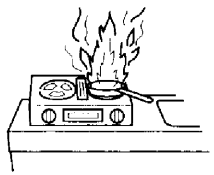
●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤と黄ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■15.「ピポーピポー火災です 火災です」と火災警報を発している場合の処置
(警報ランプ 赤 赤 黄 の同時点灯(フラッシュ))

●次の処置をしてください。

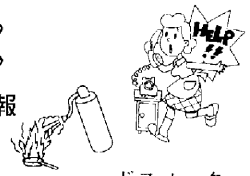
1. 火元の確認をしてください。

確認する



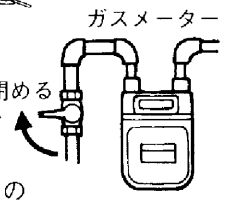
2. 必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する



●119番への通報
●初期消火

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

3. 避難してください。

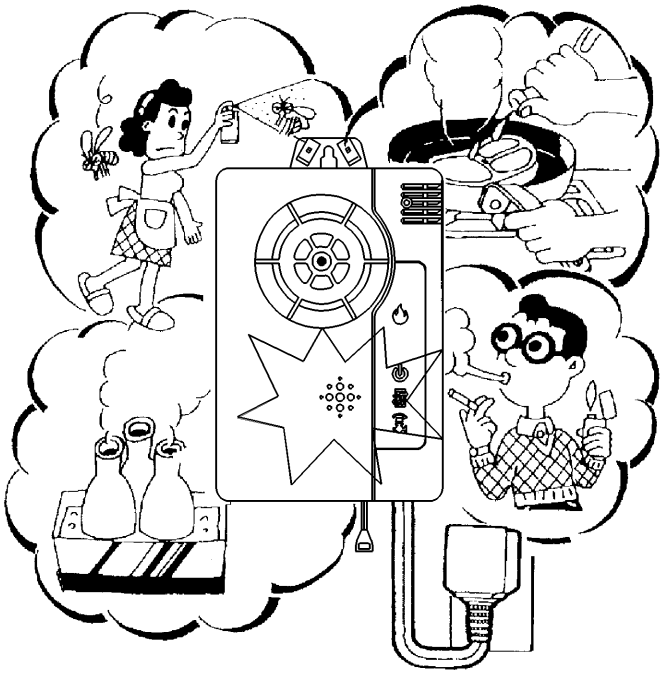
避難する

※外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■火災以外の熱や殺虫剤などで警報器が作動した場合の注意

お願い 火災以外の熱やガスもれ以外でも次のような場合、警報音が鳴ることがありますが、鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

●スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
●濃厚なたばこの煙を警報器にふきかけた場合。
●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合、また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
●調理中の熱がこもった場合。
●エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。
●警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。
●石油ストーブを点消火した場合や、長時間換気せずに使用した場合。



■外部機器連動対応表

上段　○：連動可能
　　×：連動不可能
　　△：警報器アダプターが必要

下段　警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

警報の種類 / 外部出力信号 / 連動機器 / 外部出力線	警報時の動作	火災	都市ガス	CO	備　考
		無電圧a接点 ON	DC12V	DC18V	
		赤・白線	白・灰線		
戸外ブザー	警報音が鳴ります	×	○	○	都市ガス 不完全燃焼(CO) 警報用
			約45秒		
移報ブザー	警報音が鳴ります	○	△	△	火災警報用
		即時	約45秒		
マイコンメーター	ガスを止めます		△	△	
			約45秒		
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○	○	○	
		即時	約45秒		
業務用しゃ断弁	ガスを止めます	○	○	○	
		約1秒	約45秒		
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○ ※1	○	○	
		※2	※2		

※1 消防用設備等の場合は検定品をお使いください。
※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

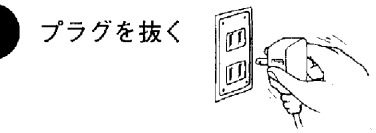
【ご注意】

1. 都市ガス、CO警報外部出力(白・灰)は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
2. 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
3. 連動機器では、都市ガスと不完全燃焼(CO)の警報は判別できません。住宅情報盤には判別できるものがあります。
4. 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
5. 連動機器は専用品をお使いください。(集中監視盤を除く)
6. 外部連動については、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にお問い合せください。

■ 16. 警報器のお手入れ方法

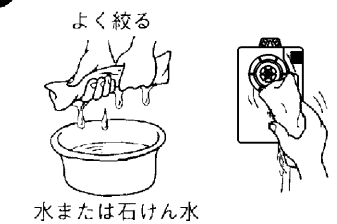
⚠注意

●警報器の表面および取付け部付近の壁面がよごれたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。

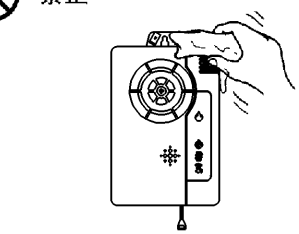


お　願　い

●お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからよごれをふき取ってください。



●お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。



●警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

■17. アフターサービス

お　願　い

●この警報器は、5年間の無償保証付です。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。

●この警報器の有効期間は、お取付け後5年間です。
有効期間とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。

※有効期間を経過した警報器は、東邦ガスが引き取って適切に処理いたします。
東邦ガスにお渡しください。

●保証書に取付け年月日および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。

●保証書は大切に保管してください。

●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にお問合せください。

●警報器の有効期間を過ぎたときは、販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にご連絡ください。

●作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

●転居する場合は、お買い求めの販売店または、最寄りの東邦ガス営業所に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。

■18. 仕様

項目		仕様	
型名		住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器	
火災警報機能	鑑定型式番号	鑑ケ第16～10号	
	作動原理	熱検知式（サーミスタ方式）	
	作動温度	約65℃	
	外部出力信号	a接点 警報時ON 接点容量（DC24V,0.5A） 移報信号	
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	対象ガス	都市ガス （空気より軽い12A・13Aガス用）	不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素
	警報ガス濃度	低濃度 *爆発下限界濃度の約1/100以上	低濃度 一酸化炭素濃度 50～200ppm
		高濃度 爆発下限界濃度の1/4以下	高濃度 一酸化炭素濃度 550ppm以下
	検知方式	半導体式	
	警報方式	低濃度 赤ランプ点滅（自動復帰式）	低濃度 黄ランプ点滅 約13分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）
		高濃度 赤ランプ点灯（フラッシュ）音声合成音（自動復帰式）	高濃度 黄ランプ点灯（フラッシュ）約3分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）
	応答速度	60秒以内	低濃度 15分以内 高濃度 5分以内
	外部出力信号	監視時 DC 6V 電源OFF時 0V 故障時 0V	
		警報時 DC 12V	警報時 DC 18V
共通仕様	警報音量	70dB以上／m	
	電源	AC 100V 50/60Hz	
	消費電力	監視時 約0.7W 警報時 約1W	
	付属回路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付	
	使用温度範囲	0℃～＋40℃（結露しないこと）	
	寸法・質量	125 × 85 × 42.5mm 約275g	
	電源コード	長さ 2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）	
	付属品	取扱説明書（保証書）、お問い合わせ先一覧、リースシール コード振れ止め(3個) 3.1ミリ木ネジ L＝10(3本) L＝16(1本) 石こうボード用ピン L＝18(5本) コネクタ式ハーネス(1個)	
	ケース材質	PC樹脂（自己消火性）ABS樹脂（自己消火性）	

★爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

＊マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い

⚠警告

1. お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 必ず行う

2. 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。 必ず行う

3. 工事終了後に取扱説明書に従って、次の事項をお客様に説明してください。 必ず行う

(1) 警報器の内容の説明（警報ランプ点灯と音声合成音）

① 火災警報
② 予備検知報
③ 都市ガス警報
④ 不完全燃焼(CO)警報
⑤ 火災と不完全燃焼(CO)の同時警報
⑥ 都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報
⑦ 火災と都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報
⑧ 故障表示
⑨ 音声確認スイッチの操作
⑩ 火災警報、予備検知報の停止

(2) 警報時のとるべき措置

① 火災警報時
② 都市ガス警報時（部屋にいなかった場合を含む）
③ 不完全燃焼警報時(CO)（部屋にいなかった場合を含む）
④ 火災と不完全燃焼(CO)の同時警報時
⑤ 都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報時（部屋にいなかった場合を含む）
⑥ 火災と都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報時

■19. 設置前のご注意

●警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

■警報器の確認

⚠注意

1. 取付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用(火災検知・不完全燃焼警報機能付)であり、本体、電源コード等に異常のないことを確認すること。 必ず行う

2. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意すること。

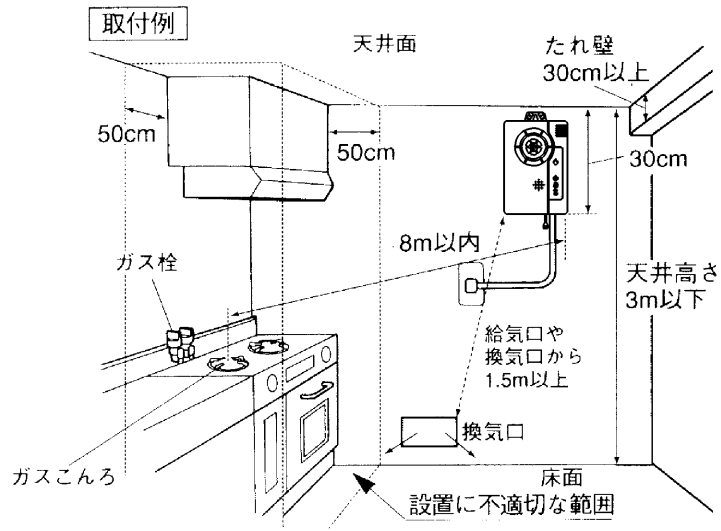
3. 有効期限を本体正面の有効期限シールに記入してください。 必ず行う

■20. 取付け位置の確認

●取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠注意

1. 都市ガス、不完全燃焼(CO)を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。	必ず行う
2. 都市ガスや不完全燃焼(CO)ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。	必ず行う
3. 都市ガス、不完全燃焼(CO)を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内、天井面から30cm以内とすること。	必ず行う
4. 天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合があるので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けること。	必ず行う
5. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。	禁止
6. 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないこと。	禁止



床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）

※取付けおよび取付け位置の移動は東邦ガスにおまかせください。

⚠注意　次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

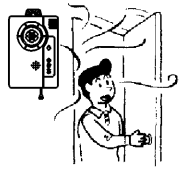
●換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ

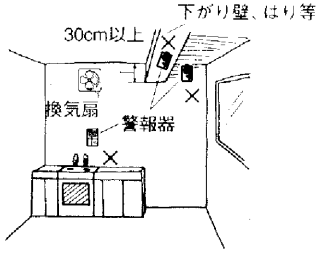
●30cm以上の下がり壁で区切られているところ

●エアコン等の吹き出し孔の近く

禁止

警報が遅れたり検知できないことがあります。





●燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

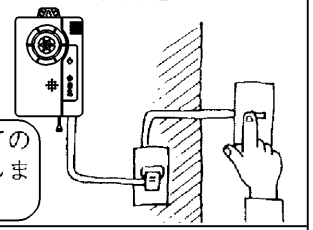
禁止

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

●使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）

禁止

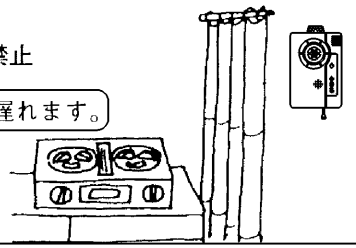
警報器としての機能を果たしません。



●カーテンウォールなどで仕切られるところ

禁止

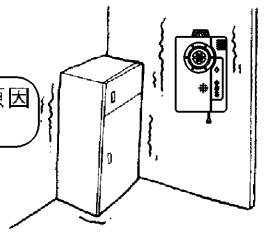
警報が遅れます。



●振動、衝撃の激しいところ

禁止

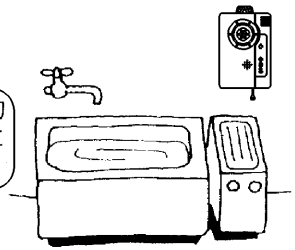
センサ故障の原因になります。



●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

禁止

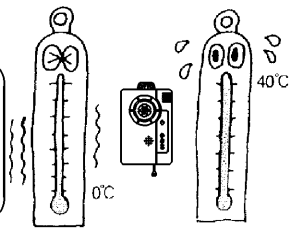
感電や電気的故障の原因になります。



●温度が0℃～＋40℃の範囲をこえるところ

禁止

警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。



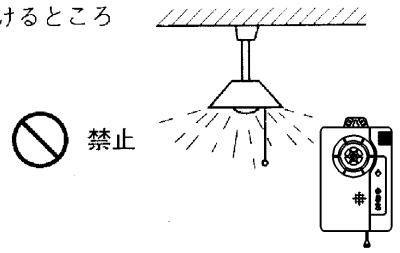
●屋外

禁止

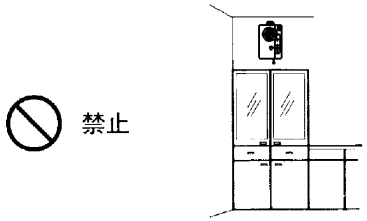
屋外用ではありません。

⚠注意　次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

●照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ



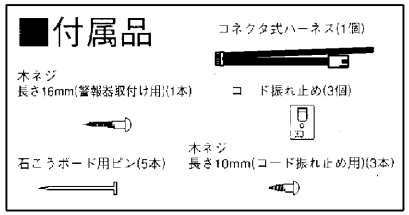
●食器棚などの上部



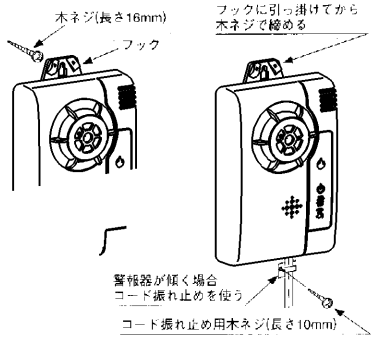
■ 21. 取付方法

お　願　い

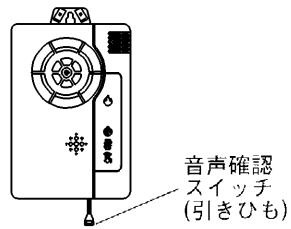
1. 付属品の確認
   部品イラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認すること。



2. 取付位置の確認
   (1)取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないこと。
   (2)壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ(市販品)を打ち込み、木ねじを使用すること。
   (3)壁が石こうボードの場合は P33 を参照して石こうボード用ピンを使用すること。



3. 警報器の取付け
   (1)木ネジを壁面の途中までネジ込みます。
   (2)電源コードをコンセントまでの長さに合せて取り出し、警報器のフックを木ねじに引っ掛けます。
   (3)木ネジを締め付け、警報器を固定します。



※ 警報音は、音声又はブザーの選択ができます。音声確認スイッチ(引きひも)を引きながら警報器の電源をONしてください。引きひもを離すとメロディ音が鳴ります。再度短く(1.5秒以下)1回ひもを引いてください。「ピッ」となったら切り替わります。
(初期設定は音声になっています)

(注)音声確認スイッチ(引きひも)を過大な力で引かないでください。
破損する場合や警報器が脱落する恐れがあります。

※ 音声メッセージ確認機能
音声確認スイッチを1~2秒引いた後離すと警報時のランプ表示、及び警報音を発声し音声メッセージ確認ができます。
また、音声確認スイッチ(引きひも)を3秒以上引くと火災警報ランプが点灯し、火災警報音を発するとともに約5秒後移報信号を出力します。解除するときは再度引きひもを1.5秒以上引いてください。

⚠注意

(4)警報器の取付け時には、警報器を落とさないよう注意してください。
(センサの断線等で正常に作動しないおそれがあります。)

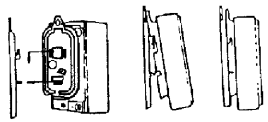
⚠警告

(5)火災検知部のガードの中にある火災センサに触れないよう取付けてください。
センサ破壊等で正常に作動しないおそれがあります。

更新取付け等、従来の取付板に取付ける場合

取付板の上の引っ掛け部を、警報器背面に引っ掛けた後、取付板下の固定凸部に警報器を押し付けるようにして食い込ませ固定します。

警報器が確実に固定されているかどうかを確認してください。



上を引っ掛けてから下の突起を押し込む

⚠注意

4. 配線方法

(1)電気設備技術基準および内線規定により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。

(2)電線の上に重いものを置かないでください。

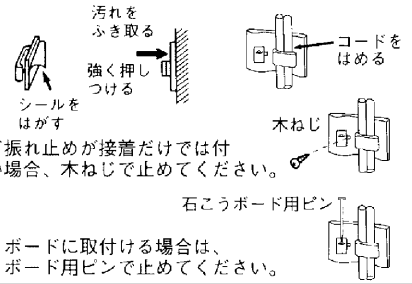
■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。

禁止

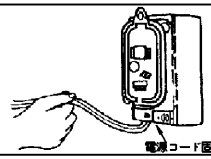
お　願　い

(3)電源コードは、付属のコード振れ止めで固定すること。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、木ねじで止めてください。
石こうボードに取付ける場合は付属のピンで止めてください。

● 電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。



(4)電源コードは、コンセントまでの長さにあわせて取出し、電源コード固定部に固定してください。



(5)外部装置との接続方法
外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

※石こうボードに取付け、取外しの場合は以下を参照してください。

⚠注意

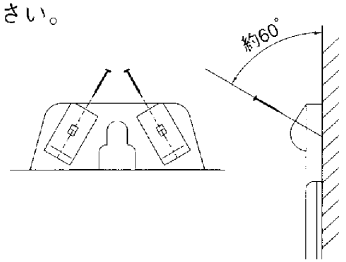
- ・ピンを指に刺さないよう取扱には十分注意願います。
- ・取付強度保持のため、ピンは根元まで差し込んでください。
- ・万一ピンがゆるんだ場合には、取付位置を少しずらしてピンを取付け直してください。

1. 付属品の確認

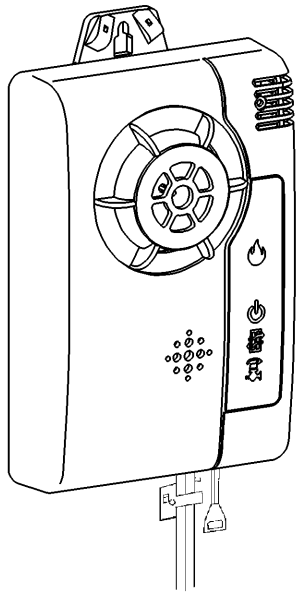
以下の付属品を確認してください。
ピン5本(本体取付用2本、コード振れ止め用3本)

2. 取付手順

(1)ピンを本体上部のピン穴に通します。
この時ピンは図の様に差し込んでください。

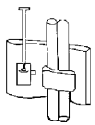


壁面に対して約60°



(2)市販の石こうボード用のピン差し込み工具又はドライバーの背面など堅いものでピンの頭を押しつけて根元まで差し込んでください。

(3)電源コードを付属のコード振れ止めで石こうボード用ピンを使用して固定してください。



―― ピンの抜き方 ――

・取付け直しや、交換時にピンを抜く時はピンの頭をラジオペンチ等でつかみ抜いてください。

■22. 作動点検

お　願　い

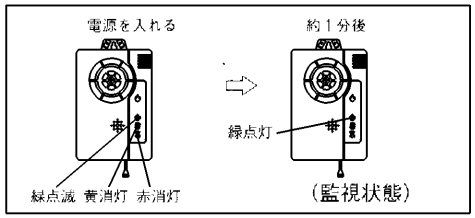
●都市ガス警報、不完全燃焼(CO)警報機能の作動点検時には、ガス採取器（別売品）とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。センサ異常又は鳴り止み期間が長くなる可能性があります。　禁止

○都市ガス警報点検の場合

電源を入れてから1～4分の間を点検モードとし、より点検をしやすくしています。点検はこの間に実施してください。

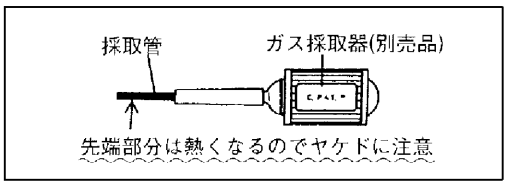
1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ（緑）が点滅し、約１分後に点滅から点灯にかわり、警報器が監視状態に入ります。（約１分後に赤ランプが点滅している場合がありますが、しばらくすると消灯します。）

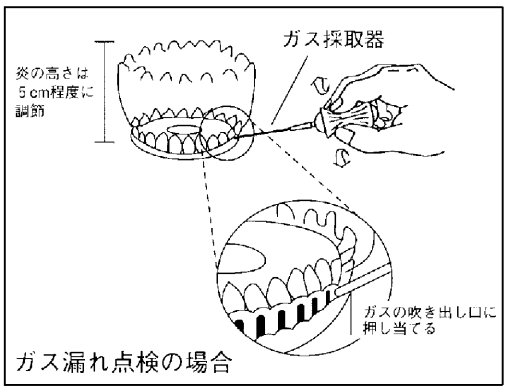


※警報器が異常になると、緑ランプが早い点滅になります。販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にご連絡ください。　必ず行う

2. 電源をONしてから約4分間以内に以下の手順で点検を行ってください。

1）周囲に引火物などが無いことを確認してからガスコンロを点火し、炎の高さを５cm程度に調整します。（炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。）
2）ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、ガス採取管の先端を炎芯部（炎の根本部分）のガス吹き出し口に押し当てます。
3）容器の圧縮をゆっくりと（約３秒程度）緩め、炎の中からガス成分を吸引します。(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)点検ガスの採取が終わりましたら速やかにガス採取器をガスコンロの炎から離して、ガスコンロの炎を消してください。



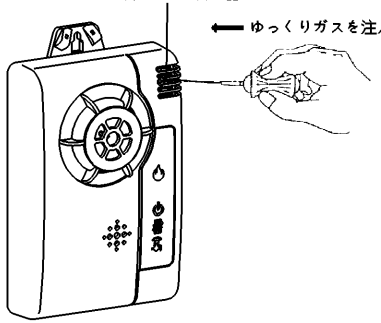


ガス漏れ点検の場合

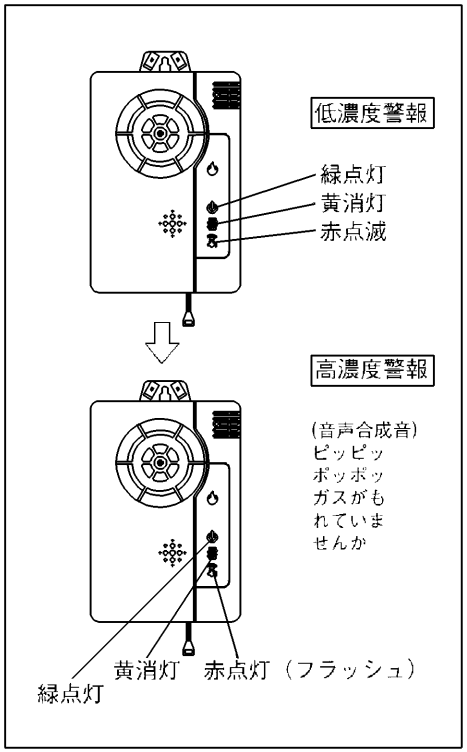
4）ガス採取管の先端部分の温度が下がるまで、約20秒程度待ちます。
（ガス採取管の先端部分は熱くなっており、冷まさずに警報器に押しあてて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約20秒間以上冷ましてから点検してください。）
5）ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押しあてて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約３秒程度）注入します。
6）ガスを注入してから約20秒以内に次のように警報することを確認してください。
・ガス濃度が低ければ、赤ランプが点滅（緑ランプは点灯）します。
（低濃度の注意報）
・ガス濃度が高ければ、赤ランプが点灯（フラッシュ）（緑ランプは点灯）し、警報音（ピッピッポッポッ　ガスがもれていませんか）が鳴ります。
（高濃度の警報）
※ブザー設定にした場合（ピッピッポッポッ）のみの警報が鳴ります。電源を入れてから４分経過後（点検モード終了後）に赤ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。もし、上記の作業を行い、上記の警報がない場合は、もう一度同様の手順でガスを注入してください。

3. ガスが規定のガス濃度以下になると、赤ランプは消灯します。

※点検作業中、黄ランプが点滅することがありますが、正常ですので作業を続けてください。



⚠注意　炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。



⚠警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。　禁止

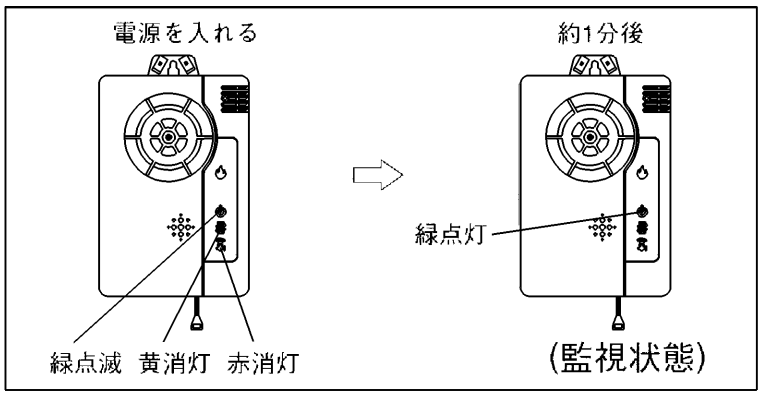
○不完全燃焼(CO)警報点検の場合

不完全燃焼警報の点検を行うときは、点検をしやすくするために、必ず読んでください。 **必ず行う**

点検をしやすくするため、電源を入れてから25分間はCO高濃度時の遅延時間3分をなくしています。又、電源を入れてから4分以内は警報解除をしやすくしていますので点検はこの間に実施してください。
※低濃度警報時の遅延時間13分はそのままです。

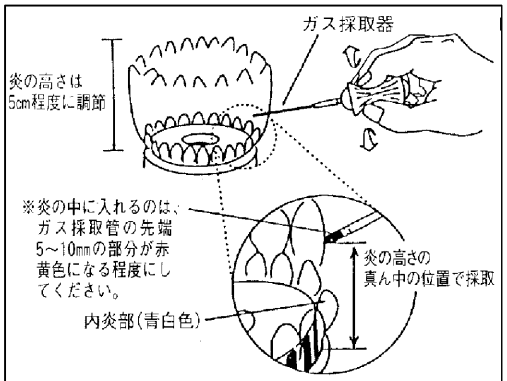
一酸化炭素の検知は約20秒毎になっています。
ガスが規定のガス濃度以下になっても次の検知点まで最高20秒間警報し続けることがあります。

1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ（緑）が点滅し、約1分後に点滅から点灯にかわり、警報器が監視状態に入ります。
（約1分後に赤ランプが点滅している場合がありますが、しばらくすると消灯します。）



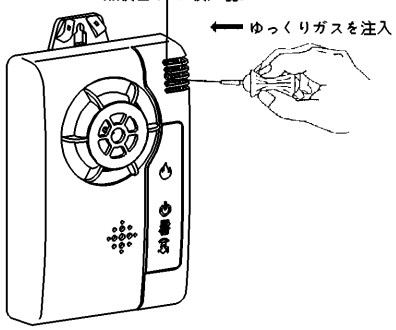
2. 電源ONしてから4分以内に以下の点検を行ってください。
ガス採取器（別売品）とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意します。

(1)ガスコンロを点火し、炎の高さを5cm程度に調整します。（炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。）
(2)ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、ガス採取管の先端を炎の高さの真ん中の位置へ持っていきます。炎の中へは、ガス採取管の先端5～10mmの部分が赤黄色になる程度にしてください。
(3)容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）緩め、炎の中からガス成分を吸引します。(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)点検ガスの採取が終わりましたら、速やかにガス採取器をガスコンロの炎から離して、ガスコンロの炎を消してください。
(4)ガス採取管の先端部分の温度が下がるまで（約20秒程度）待ちます。
（ガス採取管の先端部分は熱くなっており、冷まさずに警報器に押しあてて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約20秒間以上冷ましてから点検してください。）



●注意
不完全燃焼警報点検の場合
ガス漏れ点検時の採取位置とは
違います

(5)電源ONから60秒以上経過後、ガス採取管の先端を警報器のガス点検口にしっかり押しあてて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入します。



⚠注意

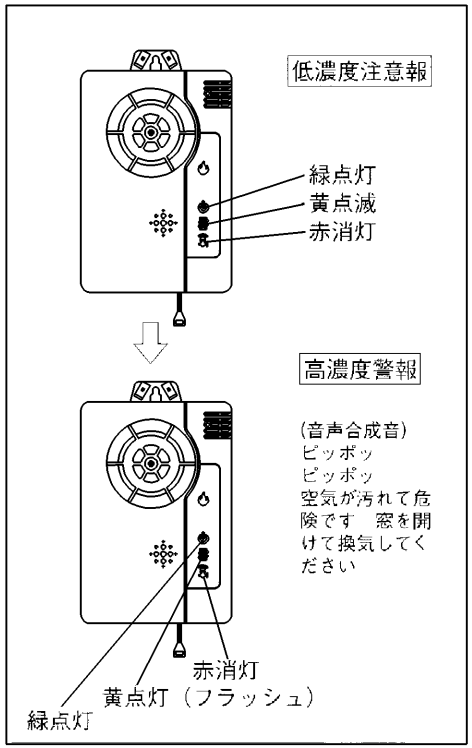
炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

(6)ガスを注入し次のように警報することを確認してください。

・ガス濃度が低ければ、黄ランプは点滅（緑ランプは点灯）します。（低濃度の注意報）

・ガス濃度が高ければ、黄ランプが点灯（フラッシュ）(緑ランプは点灯)し、警報音(「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」)が鳴ります。(高濃度の警報)

※ブザー設定にした場合（ピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。もし、上記の作業を行っても上記の警報がない場合は、もう一度同様の手順でガスを注入してください。



3. ガスが規定のガス濃度以下になると、黄ランプは消灯します。

※ガス検知点で警報判定を行っているため、ガスが、規定のガス濃度以下になっても最高20秒間警報し続けることがあります。

⚠警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。

禁止

○火災警報点検の場合

1. ヘアドライヤーを用意します。必要に応じ延長コードも用意してください。

(1)ヘアドライヤーを火災検知部の上より当てます。

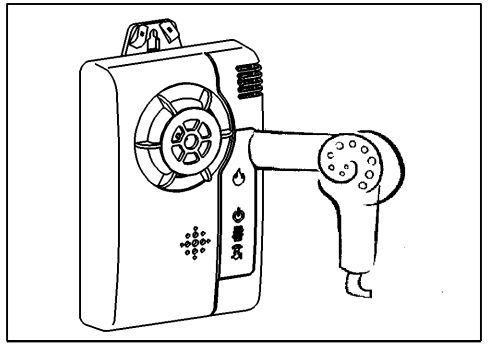
・ドライヤーの熱風がガス検知部にかからない様にしてください。

(2)ドライヤーの電源スイッチをONし、熱風を吹きかけます。

・赤ランプが点灯（フラッシュ）し、（緑ランプは点灯）警報音（「ピポーピポー 火災警報器が作動しました確認してください」）が鳴ります。

※ブザー設定にした場合（ピポーピポー）のみの警報が鳴ります。

※ドライヤーでの点検時、ガスもれ警報する場合がありますが、故障ではありません。



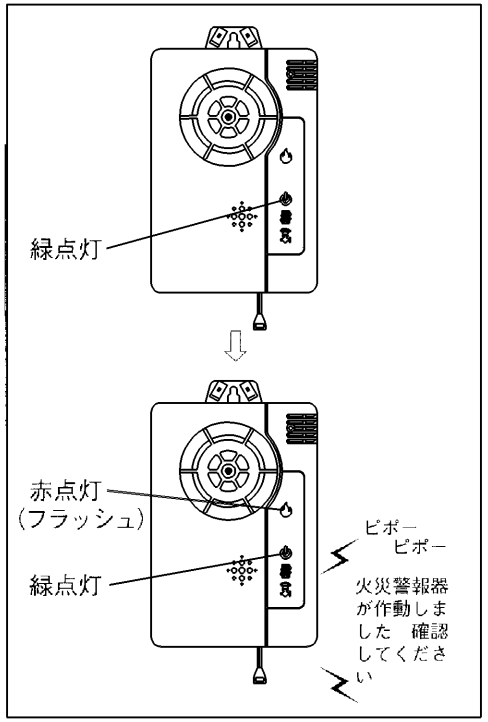
2. 火災検知部周囲の温度が下がると赤ランプが消灯します。

⚠注意

ドライヤーを離した直後、警報器は熱くなっています。
やけどをしないようご注意ください。

ライター等の直火で加熱試験は、行わないでください。
機器破損の原因となります。

禁止



3. 以下の方法でも火災警報点検ができます。

(1)音声確認スイッチの引きひもを1～2秒間引いてください。その後ピッと鳴りますので離してください。

(2)火災警報ランプ（赤）、不完全燃焼警報ランプ（黄）、都市ガス警報ランプ（赤）が点灯（フラッシュ）するとともに警報音声を発します。

（詳しくは次ページを参照ください。）

⚠注意

火災警報の警報ランプの点灯（フラッシュ）や警報音の発声に続いて、不完全燃焼警報と都市ガス警報の警報ランプの点灯や警報音が鳴りますが、不完全燃焼警報や都市ガス警報の作動点検にはなりません。

○音声確認スイッチによる警報ランプと警報音の確認

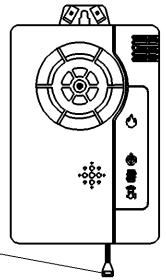
音声確認スイッチを一時的にONすることによって警報ランプと警報音の確認を行うことが出来ます。

⚠注意

音声確認スイッチを操作しても不完全燃焼警報と都市ガス警報の作動点検にはなりません。不完全燃焼警報やガスもれ警報の作動点検は、34～38ページにならって実施してください。

音声確認スイッチの引きひもを1～2秒間引いてください。
その後ピッと鳴りますので離してください。
警報ランプと警報音の確認が始まります。

(注)音声確認スイッチを過大な力で引かないでください。
破損する場合があります。



音声確認スイッチ（引きひも）

●確認時は下記の順で警報ランプの表示、警報音声(ブザー設定時はブザー音)を発声します。

ステップ	音声内容	ランプ		
		火災	都市ガス	CO
1	ピポーピポー火災です　火災です　※1 ●ブザー設定時は　ピポーピポー（連続）となります	点灯（フラッシュ）		点灯（フラッシュ）
2	ピポーピポー火災警報器が作動しました確認してください ●ブザー設定時は　ピポーピポー（連続）となります	点灯（フラッシュ）		
3	ピッピッポッポッ　ガスが漏れていませんか ●ブザー設定時は　ピッピッポッポッ（連続）となります		点灯（フラッシュ）	
4	ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください ●ブザー設定時は　ピッポッピッポッ（連続）となります			点灯（フラッシュ）

※1 火災による熱と同時に不完全燃焼ガスが発生した場合の警報です。
※ 音声はそれぞれ1回ずつ発声します。
※ 点検中は電源ランプ(緑)は点滅です。
※ 各ステップは約8秒間で切替ります。
※ この機能は初期遅延中及び監視中に行うことができます。
※ 外部出力は監視状態です。

○火災移報信号点検の場合

次の手順で点検してください。

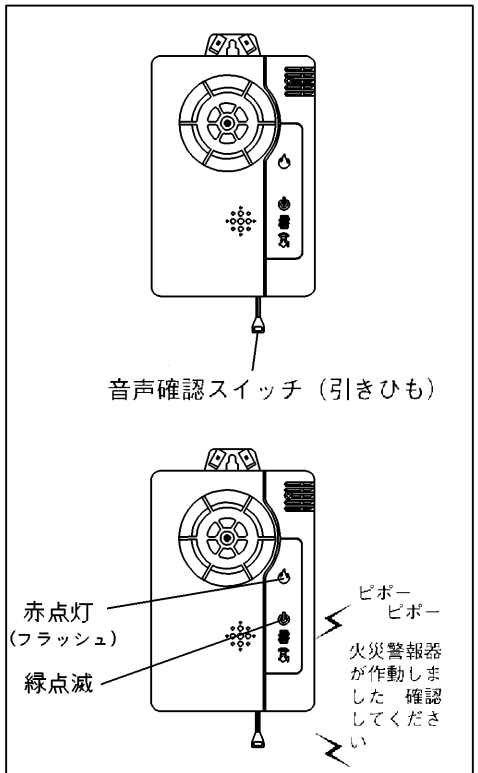
(1)音声確認スイッチの引きひもを3秒以上引いてください。(ピッピーと鳴ります。)

・赤いランプが点灯(フラッシュ)し､警報音「ピポー ピポー火災警報器が作動しました確認してください」が鳴ります。

※ブザー設定にしてある場合は「ピポー　ピポー」のみの警報が鳴ります。

(2)移報信号を出力します。

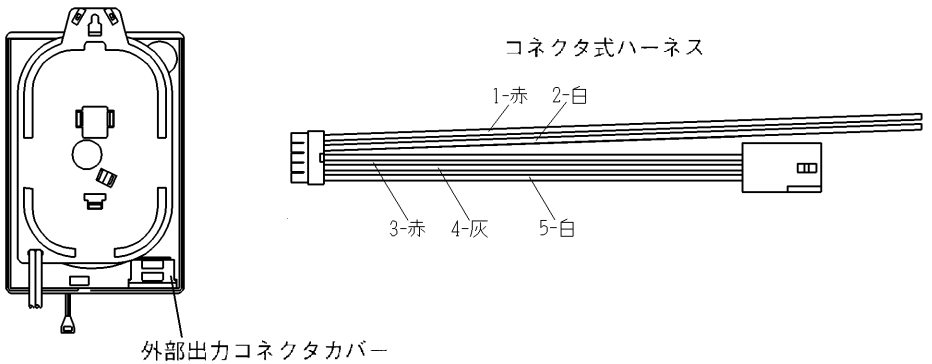
(3)音声確認スイッチの引きひもを再度1.5秒以上引くと（ピーと鳴ったあと）警報が停止します。



■外部装置と接続した場合の注意点及び点検方法

●外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。

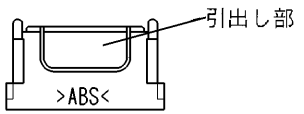
●外部装置と接続する場合は外部出力コネクタカバーを外し付属品のコネクタ式ハーネスを接続してください。



外部出力信号		リード線No.	リード線の色（極性）
火災	a接点出力	1-2	赤・白
	移報信号	3-4	赤（＋）　灰（－）
都市ガス・CO警報出力		4-5	灰（－）　白（＋）

●接続後カバーのリード線引出部を切り取り、そこからリード線を引き出してください。

●カバーはケースに確実に取付けてください。



■お客様へのご説明内容

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
   (1)火災警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
   (2)都市ガス警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
   (3)火災、不完全燃焼(CO)の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
   (4)不完全燃焼(CO)警報の内容(黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
   (5)都市ガス、不完全燃焼(CO)の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
   (6)火災、都市ガス、不完全燃焼(CO)の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
   (7)部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
   (都市ガス、不完全燃焼(CO)警報時)
   (8)予備コンセントの容量上限値について。
   (9)誤報が発生する場合。
   (10)警報器に異常が発生した場合(緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合)と、とるべき措置の説明。
   (11)音声確認スイッチの操作。

■お客様への周知事項

お　願　い

●お客様に次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。

1. 保証期間5年。
2. 警報器の有効期間を知らせる。(本体に表示)
3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。
4. 警報器の移設禁止。(移設依頼の連絡先)
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。

必ず行う

■施工される方へ

●有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について

・一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。
一般廃棄物として焼却処理した場合、有害ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。

・決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。

複合型火災・都市ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）

保　証　書

品　名 **YF-W3**　　＜製造番号＞

このたびは複合型火災・都市ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）をお取付けいただきありがとうございます。

この保証書は東邦ガス供給区域内において、東邦ガスが供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本証書の記載内容にて無料点検または無料取替えをお約束するものです。

記

1．保証期間は、お取付け後５年間とし警報器本体を対象とします。
2．保証期間中万一故障した場合は、本証書をご提示の上おもとめの販売店もしくは最寄りの東邦ガスへお申し出ください。
3．取扱説明書に基づく正常な使用状態で、誤作動等の異常が認められた場合には、お申し出に基づき無料にて出張のうえ点検いたします。
4．取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は無料にて出張のうえお取替えいたします。
5．保証期間内でも次ページに記載してある事項の場合には有料点検もしくは有料取替えとなります。
6．無料取替えなどアフターサービス等について、ご不明の場合は、お取付けの販売店または別紙のお問い合わせ先一覧に記載してある最寄りの東邦ガス営業所にお問合せください。

お取付日	平成　　年　　月
ご使用者	ご芳名
	ご住所 〒　　TEL(　　)　—
お支払い者	ご芳名
	ご住所 〒　　TEL(　　)　—

＜保証の適用除外＞

この製品は保証期間内でも次の場合、点検または取替えは有料となります。

1．点検の結果、警報器に異常が認められない場合。
2．取扱説明書に基づかない使い方をして、故障または損傷した場合。
3．火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による故障または損傷。
4．お客さまが警報器を移動して、取付位置が浴室・屋外・高温多湿等不適当な場所及び取付基準に定める位置以外の場所で使用した場合。
5．おもとめ後の取付場所の移動・落下等による故障または損傷。
6．おもとめ後、分解・改造等をされた場合の故障または損傷。
7．建築躯体の変形等警報器以外に起因する不具合、色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の不具合。
8．東邦ガスが供給するガス以外に使用した場合。
9．水や煮こぼれ等の液体または動・植物による故障または損傷。
10．保証書の提示がない場合。

＜点検記録＞

年　月	内　　容	サービス員印

年　月	内　　容	サービス員印

＜取替えのお願い＞

1．取付後５年を過ぎたものは、是非新しい警報器とお取替えください。

＜お客さまへ＞

1. この保証書をお受け取りになる時に、お取付日、販売店、扱者印が記入されていることを確認してください。
2. 保証書は再発行いたしませんので紛失されないように大切に保存してください。
3. この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

販売店		扱者

保証履行者　東邦ガス株式会社
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号
保証責任者　矢崎総業株式会社
〒108-8333 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 17F

お問い合わせ先一覧

●お電話でのお問い合わせ

ご連絡は、平日の午前9時から午後7時までにお願いします。

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区のお客さまは「お客さまセンター」でお電話を承ります。
また、４支社地区の営業所にお電話いただきますと「お客さまセンター」につながります。

②三重支店地区、岐阜支店地区、岡崎支店地区のお客さまのお電話は各支店・営業所で承ります。

東部支社：サービスエリア　（市区町村）	電話番号	担当営業所
千種区　昭和区　名東区　天白区	052-781-6131	星ヶ丘
豊田市　藤岡町　三好町	0565-32-3070	豊 田
瀬戸市　尾張旭市	0561-82-6105	瀬 戸
日進市　東郷町　長久手町	052-802-1234	日 進
北部支社：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**担当営業所**
北区　東区　西区　守山区　師勝町　豊山町　西春町	052-902-1111	北
春日井市	0568-31-6144	春日井
小牧市　岩倉市　犬山市　大口町　江南市　扶桑町 可児市　多治見市　土岐市	0568-73-1551	小 牧
西部支社：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**担当営業所**
中区　中村区　中川区　港区　新川町　清洲町　西枇杷島町 春日町　大治町　七宝町　美和町　甚目寺町　津島市　佐織町 蟹江町　飛島村　十四山村　木曽岬町　長島町　大安町　員弁町	052-471-1151	中 村
一宮市　木曽川町　稲沢市　平和町　祖父江町　尾西市　羽島市	0586-73-0101	一 宮
南部支社：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**担当営業所**
瑞穂区　南区　熱田区　緑区　豊明市	052-821-7141	笠 寺
刈谷市　知立市　安城市　西尾市　蒲郡市　高浜市　碧南市	0566-21-1647	刈 谷
半田市　武豊町　阿久比町　東浦町　常滑市	0569-21-1526	半 田
東海市　知多市　大府市	0562-32-2101	東 海
三重支店地区：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**担当営業所**
四日市市　桑名市　鈴鹿市　朝日町　川越町	0593-53-9151	四日市
津市　久居市　安濃町　河芸町	059-228-7161	津
伊勢市　御薗村	0596-28-9101	伊勢
松阪市　嬉野町　三雲町	0598-51-5518	松阪
岐阜支店地区：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**支店・営業所**
岐阜市　笠松町　柳津町　岐南町　北方町　糸貫町 真正町　瑞穂市　大野町　山県市	058-272-2166	岐阜
各務原市	0583-84-0588	各務原
岡崎支店地区：サービスエリア　（市区町村）	**電話番号**	**支店**
岡崎市　音羽町　幸田町	0564-21-2231	岡崎

●ＦＡＸでのお問い合わせ

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区
　お客さまセンター　ＦＡＸ（052）847−1940

②三重支店地区　四日市営業所　ＦＡＸ（0593）52−3150
　津営業所　ＦＡＸ（059）228−7176
　伊勢営業所　ＦＡＸ（0596）28−8176
　松阪営業所　ＦＡＸ（0598）51−8344

③岐阜支店地区　岐阜支店　ＦＡＸ（058）276−3845
　各務原営業所　ＦＡＸ（0583）70−0466

④岡崎支店地区　岡崎支店　ＦＡＸ（0564）25−0492

※電話番号については、平成１６年１２月１日現在のものです。ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

※取扱説明書の裏表紙などにお問い合わせ先が記載されている場合、このお問い合わせと異なる場合があります。機器に関するお問い合わせはこの用紙にてご連絡をお願い致します。